

## Career Interview

統計局事業所情報管理課企画官

田中 久睦

TANAKA HISACHIKA

昭和 59年 4月 総理府採用  
統計局製表部電子計算課操作第2係

平成 8年 4月 総理府国立公文書館庶務課庶務係長

平成 10年 7月 統計センター管理部電子計算機室漢字編集出力係長

平成 11年 4月 統計センター管理部電子計算機室集計データ編集係長

平成 12年 10月 統計センター管理部統計情報官

平成 15年 4月 独立行政法人統計センター製表部事業管理課  
上級製表職

平成 20年 4月 独立行政法人統計センター総務部経営企画室総括係長

平成 21年 4月 独立行政法人統計センター製表部管理企画課  
統括製表職(消費担当)


平成 23年 1月 独立行政法人統計センター製表部管理企画課  
統括製表職(労働力担当)

平成 24年 7月 統計局統計調査部国勢統計課課長補佐

平成 28年 4月 独立行政法人統計センター統計情報・技術部  
統計作成支援課統括統計職

平成 30年 4月 統計局統計作成支援課統計データ二次的利用企画官

平成 31年 4月 現職



日本の未来のために、  
とても大切な  
仕事があります。



## 【今、そしてこれから】

## 楽しく仕事を

現在は、全国の全ての事業所を調査する「2019年経済センサスー基礎調査」の実施準備、統計調査の基盤となる「事業所母集団データベース」の管理などの業務に携わっています。これらは、企業の経営判断や政策立案などの基礎情報となり、日本の未来のためにとても大切なものです。このプロジェクトの一員として、これまで以上の成果を目指して、これからも楽しく仕事に取り組んでいきたいと思えます。

## 【課長補佐時代】

## 仕事へのスタンス

課長補佐時代に特に印象に残っているのは、国勢調査を実施する部署です。全ての世帯をオンラインで調査することに初めて取り組み、それまで前例のないオンライン回答数1000万世帯超を目標に掲げました。責任もありましたが、同時にやりがいのある仕事でした。度々壁にぶつかり苦労も多かったですが、この仕事を通じて「結果を恐れず、まずやってみる」という精神を学び、今の仕事に対する姿勢へと繋がっているように思います。

## 【係員時代】

## 経験が人をつくる

初めての部署は、大型コンピュータのオペレーションを行う業務でした。身の丈程あるCPUやディスク装置が所狭しと並んだ場所で、国勢調査を始めとした統計調査の集計業務を行いました。当時はPCも普及していなかった頃で、いち早く情報技術に触れたことは、仕事をする上で貴重な経験になったと思います。また、他の部署では、予算・会計業務にも携わり、組織全体の業務を知ることができ、私の仕事の基礎が築かれたと思います。

## Message

私が経験してきた仕事は、主に統計関係ですが、統計関係だけでなく国際協力、調査企画、地方自治体との連携、広報、研究、予算・会計、情報技術の分野など多岐に渡っています。総務省全体では、さらに幅広い仕事になってきます。やりたい仕事がある人、まだ見つからない人も総務省に探しに来てください。総務省には、あなたの「やりたい」がきっとあるはずですよ。